

(保健) 授業シラバス

科目名	単位数 (標準単位)	学科・学年・学級
保健	1 単位 (1)	全学科 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。健康にかかわる様々な課題について自ら学び、自ら考え、判断し、責任ある行動力を身につける。		
使用教科書・副教材等	現代高等保健体育・現代高等保健体育ノート	学習形態	一斉授業

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	評価の観点 評価基準	考査 範囲
第1 学期	4 5 6 7	第3単元 生涯を通して健康	1. ライフステージと健康	○性的成熟こともない、異性への関心が高まり性衝動が注ぎるなど、心理面や行動面が変化することを理解できる。 ○性に関する情報への対処や性行動においては異性を尊重する態度をもって、意志決定や行動選択をとる意義を理解できる。 ○受精、妊娠、出産とそれともなう健康問題について理解できる。 ○個々のライフスタイルや母性保護・人権尊重などの視点から、家族関係の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できる。 ○加齢ともなう心身の変化、中高年期の健康増進や増進に及ぼす各種要因や社会的施策についての理解を深め、健康な生活習慣を確立し、自己管理能力を高めることが重要であることを理解できる。	期末考査
			2. 思春期と健康		
			3. 性意識と性行動の選択		
			4. 妊娠・出産と健康		
			5. 避妊法と人工妊娠中絶		
			6. 結婚生活と健康		
			7. 中高年期と健康		
			8. 働くことと健康		
			9. 労働災害と健康		
			10. 健康と職業生活		
第2 学期	9 10 11 12	第4単元 健康を支える環境づくり	1. 大気汚染と健康	○職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行う必要があることを理解できる。 ○人間生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあるということを理解できる。 ○上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物の処理などが適切に行われることが必要であることを理解できる。 ○食品の安全性確保の重要性を理解し、環境と食品の保健を守るために、生産・流通・消費・破棄の各段階で安全性が求められることを理解できる。 ○保健・医療・福祉の連携と総合的な社会的施策の必要性についての理解と社会生活における健康の保持増進は、個人のみだけでなく、個人を取りまく自然環境や社会の制度、活動などが深く関わっていることを理解できる。 ○健康被害の防止と健康増進には、行政・生産者・消費者がそれぞれの役割を果たさなければならないことを理解できる。	期末考査
			2. 水質汚濁・土壌汚染と健康		
			3. 環境と健康に関する対策		
			4. ゴミの処理と上下水道の整備		
			5. 食品の安全性		
			6. 食品衛生に関する活動		
			7. 保健サービスとその活用		
			8. 医療サービスとその活用		
			9. 医薬品の制度とその活用		
			10. さまざまな保健活動や社会的対策		
			11. 健康に関する環境づくりと社会参加		
第3 学期	1 2 3				期末考査
【年間の評価】 各定期考査、保健ノートや課題等の提出、授業態度・勤怠状況をもとに総合的に評価する。					